



私たちは、食を通じて社会に貢献します。



SATO
RESTAURANT
SYSTEMS

第47期 中間報告書

平成26年4月1日から平成26年9月30日まで





代表取締役執行役員社長
重里 欣孝

株主の皆様には、ますますご清栄のことと拝察申しあげます。

平素より格別のご高配を賜り、厚くお礼申しあげます。

ここに、第47期中間期(平成26年4月1日から平成26年9月30日まで)の営業の概況をご報告申しあげます。

当第2四半期連結累計期間の業績は増収増益を達成し、売上高が前年同期比51億16百万円(37.8%)増加の186億47百万円、営業利益は前年同期比96百万円(20.9%)増加の5億56百万円、経常利益は前年同期比1億56百万円(36.7%)増加の5億84百万円、四半期純利益は前年同期比26百万円(9.7%)増加の3億5百万円となりました。増収の主な要因としましては、平成25年7月に子会社化した株式会社フーズネットの業績を取り込んだことが、大きく寄与しております。また、懸念されました消費税増税による駆け込み需要の反動や可処分所得の実質低下による売上高への影響は、限定的な範囲に留まりました。収益面につきましては、増収および販管費の適切なコントロールによる効果と、為替差益の影響等により増益となりました。

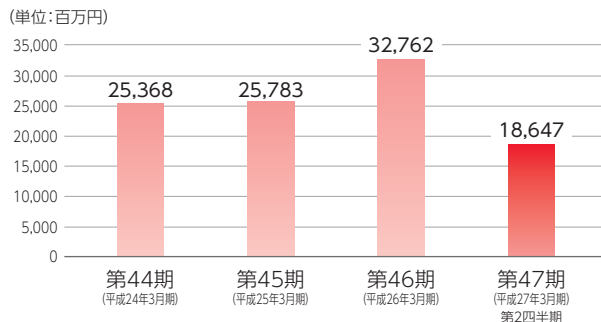
当社グループは新中期経営計画の達成に向けて、店舗出店施策を最重要課題と位置づけ、出店目標の達成に向けた取り組みを推進しております。新中期経営計画初年度にあたる当連結会計年度の出店予定数は、直営店とFC店合計で35店舗を計画しており、当第2四半期連結累計期間の出店実績としましては、「天丼・天ぷら本舗 さん天」業態で直営2店舗、「にぎり長次郎」業態で直営1店舗、「かつや」業態で直営1店舗、FC3店舗の計4店舗、全業態合計で7店舗をオープンいたしました。なお、上記出店済み店舗に加え10店舗の出店契約をすでに締結しております。(平成26年9月末現在)

海外展開といたしましては、経済成長著しいタイ市場にて、より多くの方々にも本物の和食をリーズナブルな価格で提供することで、豊かな食文化に貢献することを目指し、平成26年3月に同国において高級日本食レストラン業を展開する日本亭グループが設立した日本亭サト株式会社に対して、平成26年8月にタイ消費財最大手であるサハグループと共に、出資をいたしました。今後は、台湾、インドネシアに続きタイでの事業拡大を目指します。台湾におきましては、平成26年9月18日に同国3店舗目の出店となる、一人鍋新業態「鍋上都」1号店を台北市にオープンいたしました。

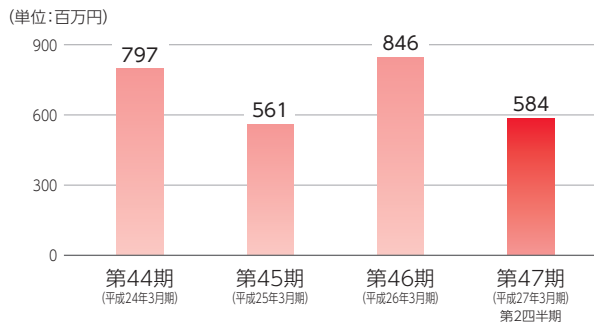
以上の結果、当第2四半期連結会計期間末の直営店舗数は284店舗(対前年同期比11店舗の増加)となりました。その内訳は、「和食さと」業態197店舗、「すし半」業態13店舗、「さん天」業態8店舗、「にぎり長次郎」業態51店舗(「CHOJIRO」業態含む)、「都人」業態1店舗、「にぎり忠次郎」業態2店舗、「かつや」業態12店舗であります。なお、当社グループのFC店舗数は、「都人」業態20店舗、「かつや」業態10店舗の合計30店舗、海外店舗数は、台湾3店舗、インドネシア1店舗の合計4店舗で、国内外のグループ総店舗数は318店舗となりました。

当社グループは「私たちは、食を通じて社会に貢献します。」というグループとしての企業活動の根幹であるフィロソフィーの実現を目指し、「最も顧客に信頼されるレストランの実現」に向けて邁進してまいり所存でございますので、引き続き一層のご支援とご鞭撻を賜りますようお願い申しあげます。

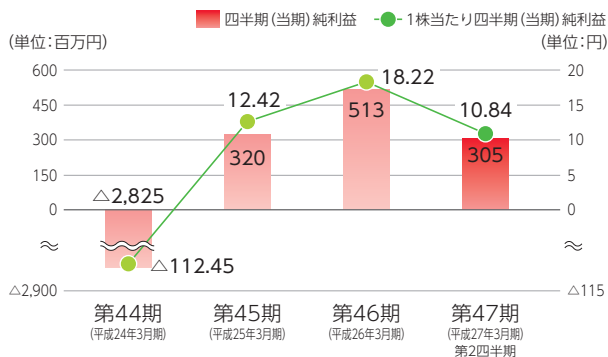
売上高



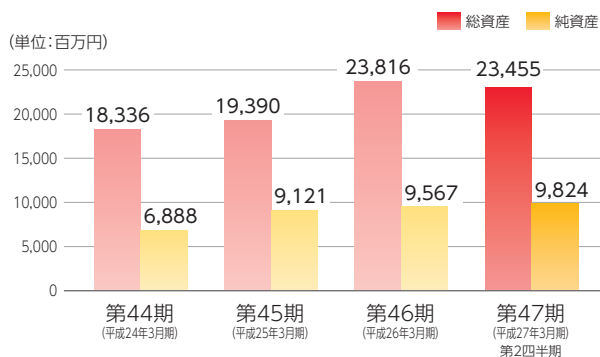
経常利益



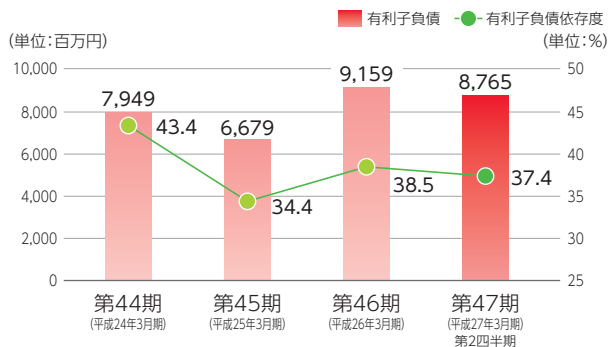
四半期(当期)純利益 / 1株当たり四半期(当期)純利益



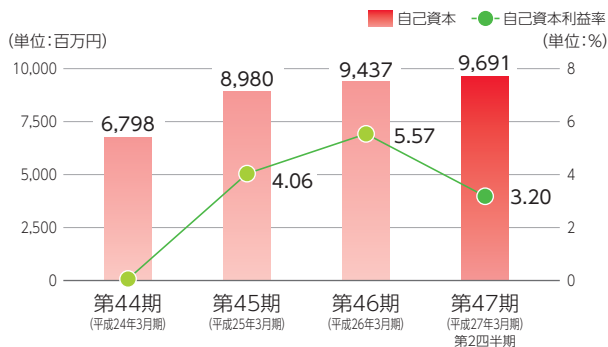
総資産 / 純資産



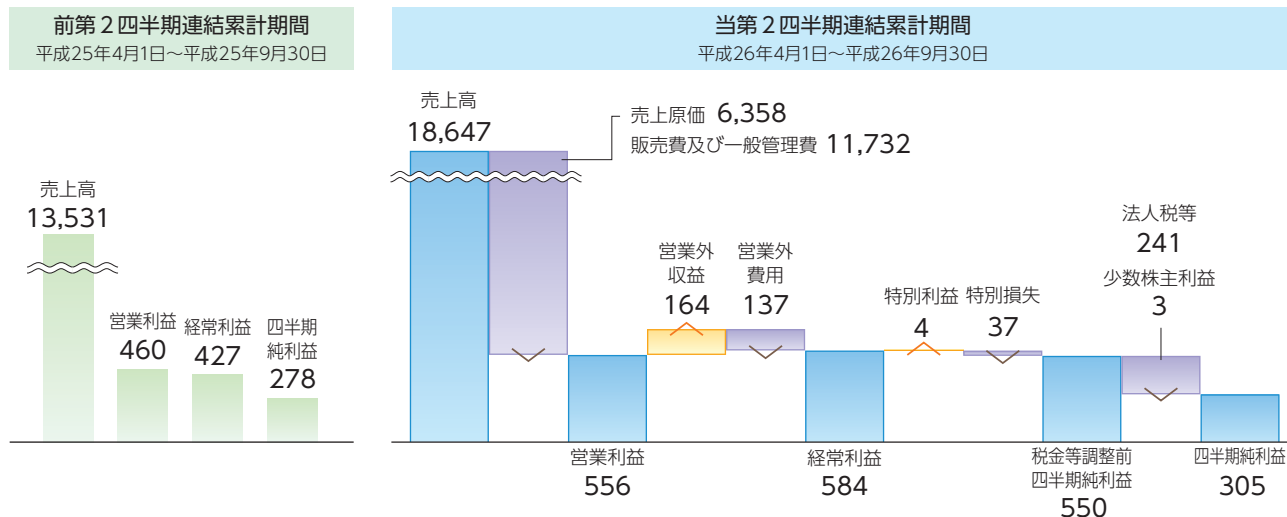
有利子負債 / 有利子負債依存度



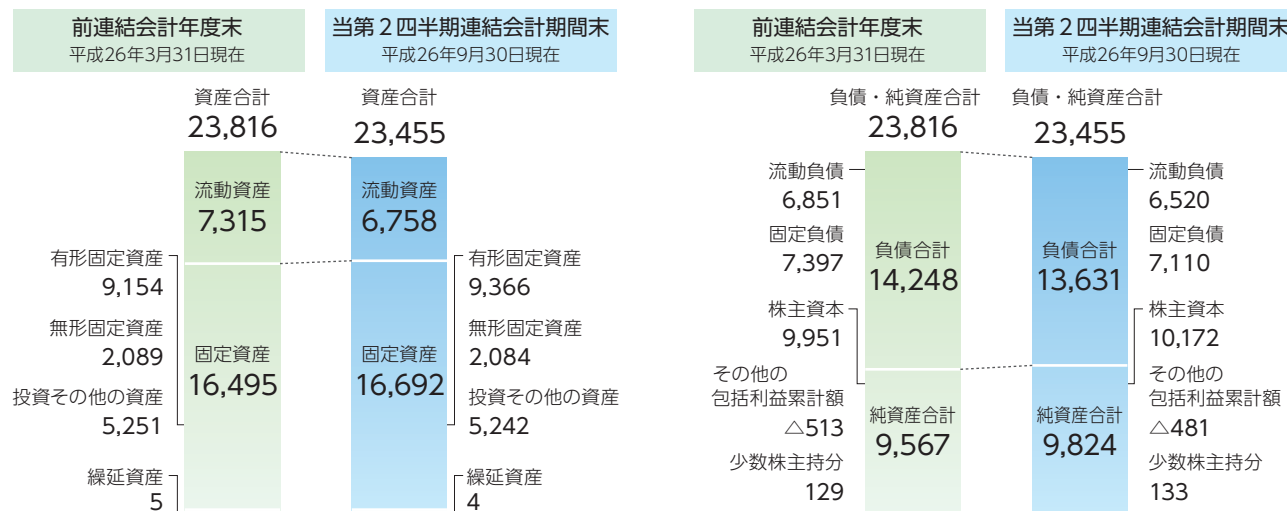
自己資本 / 自己資本利益率



四半期連結損益計算書(要約) (単位：百万円)



四半期連結貸借対照表(要約) (単位：百万円)



■ 株式の状況 (平成26年9月30日現在)

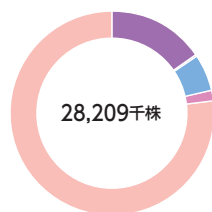
発行可能株式総数 100,000,000株
 発行済株式の総数 28,209,080株
 株主数 16,177名

大株主

株主名	持株数(株)	持株比率(%)
重 里 欣 孝	2,530,042	9.0
重 里 百 合 子	2,500,008	8.9
株式会社三菱東京UFJ銀行	1,199,750	4.3
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口4)	835,500	3.0
麒麟麦酒株式会社	600,000	2.1
キーコーヒー株式会社	308,000	1.1
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	288,200	1.0
サトレストランシステムズ従業員持株会	262,006	0.9
株式会社みずほ銀行	235,750	0.8
特定有価証券信託受託者株式会社SMBC信託銀行	210,000	0.7

(注) 当社は、自己株式122株を保有しており、持株比率については、自己株式を控除して算出しております。

■ 所有者別株式の分布状況 (平成26年9月30日現在)



金融機関	4,335千株 (15.4%)	25名
証券会社	115千株 (0.4%)	18名
その他国内法人(含:自己株式)	1,648千株 (5.8%)	150名
外国法人等	443千株 (1.6%)	38名
個人その他	21,668千株 (76.8%)	15,946名

■ 会社情報 (平成26年9月30日現在)

商号 サトレストランシステムズ株式会社
 設立 昭和26年4月
 (実質上の営業開始年月は昭和43年8月)

資本金 63億61百万円

従業員数 単体 595名 パートタイマー 7,121名
 連結 889名 パートタイマー 9,177名
 ※連結数値には株式会社フーズネット及びサト・
 アークランドフードサービス株式会社を含む。

株式上市 東証一部

主な事業内容 飲食店の経営及び食料品の製造販売

事業所

本社
 大阪市中央区安土町二丁目3番13号
 物流事務所
 大阪市住吉区万代五丁目14番1号

重要な子会社

株式会社フーズネット
 大阪市中央区安土町二丁目3番13号
 サト・アークランドフードサービス株式会社
 大阪市中央区安土町二丁目3番13号

■ 役員 (平成26年12月10日現在)

代表取締役執行役員社長	重 里 欣 孝
取締役執行役員副社長	重 里 政 彦
取締役	永 井 正 信
取締役	青 木 利 雄
社外取締役	佐 藤 治 正
常勤監査役	寺 島 康 雄
監査役	鈴 江 勝 勝
監査役	竹 山 明 宏
執行役員	田 口 剛 一
執行役員	今 泉 寿 一
執行役員	森 田 浩 行
執行役員	田 中 正 裕
執行役員	坪 山 憲 司

事業年度	4月1日～翌年3月31日
剰余金の配当 受領株主確定日	期末配当 3月31日 中間配当 9月30日
定時株主総会	毎年6月
株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社
同 連 絡 先	三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号 TEL 0120-094-777 (通話料無料)
公告の方法	電子公告により行います (公告掲載URL http://www.sato-restaurant-systems.co.jp) ただし、電子公告によることができない事故、 その他やむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に掲載します。

(ご注意)

1. 株主様の住所変更、買取請求その他各種手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合わせください。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
2. 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店で支払いいたします。
3. 特別口座に記録された株式に関する各種手続きにつきましては、みずほ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、下記特別口座の口座管理機関（みずほ信託銀行）にお問合わせください。

特別口座の
口座管理機関 みずほ信託銀行株式会社

同 連 絡 先 みずほ信託銀行株式会社 証券代行部
〒168-8507
東京都杉並区和泉二丁目8番4号
TEL 0120-288-324 (通話料無料)

タイの和食レストラン企業に出資

当社グループのフィロソフィーである「私たちは、食を通じて社会に貢献します。」を実現するべく、経済成長著しいタイ市場において「より多くのタイの方々には本物の日本食を、よりリーズナブルなお値段で提供し、豊かな食文化に貢献する。」ことを目指して、タイにおいて高級日本食レストラン業を展開する日本亭グループと、タイ消費財最大手のサハグループと合併契約書を締結し、Nippon Tei Sato Co., Ltd.に出資いたしました。



「Facebook」の公式ページを開設

当社グループの各業態の新メニュー、新店情報、更には、広報・IR・CSR活動等多様なビジネス展開を社内外にPRするため、サトレストランシステムズグループとして、「Facebook」の公式ページを開設しました。
(<https://www.facebook.com/satorsgroup>)



「安全」「安心」へのこだわり



「安心宣言」のベースは品質管理規定とマニュアル

食の「安全」とは、科学的事実として食べ物に危険因子が含まれていないこと。

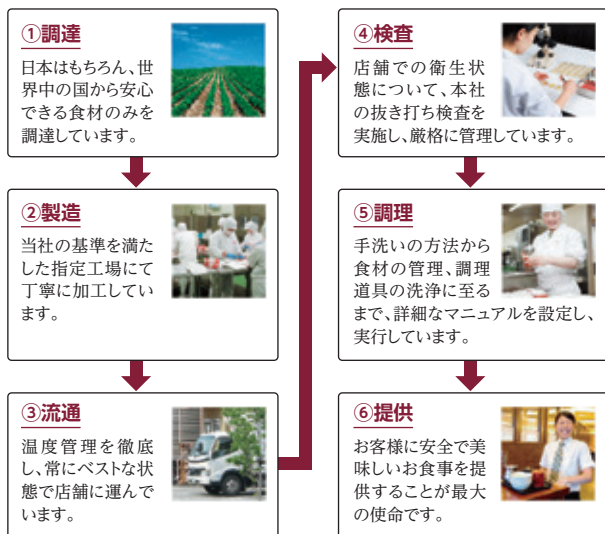
食の「安心」とは、食べ物に対しての信頼をもって、無意識に口に運べる状態のこと。

当社では、自社の安全基準を満たす産地や工場を日本国内はもちろんのこと世界中から選び、仕入れ担当者が現地(産地)を訪問し、厳選した農場や加工場から仕入れを行っています。また、各部門においても、品質管理に関連する規則やマニュアルに沿って、産地から店舗まで一貫した品質管理を実施することで、食の「安全」「安心」に努めております。

■ 安全な食材調達のおしくみ

「安心宣言」

当社では、安全で美味しいお食事をお客様に提供する為に、原料調達から加工、流通、店舗調理の全ての段階で徹底した品質管理を行っております。安心して楽しいお時間を過ごして下さい。



■ 「安心宣言」のベースとなる品質管理規定とマニュアル

当社には品質管理に関する規則やマニュアルがあり、それに沿った品質管理が行われています。品質管理を常にブラッシュアップすることにより、お客様にご提供する商品の安全性向上に結びつけることを目標としております。

- ①細菌性食中毒予防のための衛生管理マニュアル
- ②遺伝子組み換え監視マニュアル
- ③残留汚染物質監視マニュアル
- ④食品添加物監視マニュアル
- ⑤その他の監視マニュアル



社員への徹底した食品衛生教育

「食品衛生に関する危機管理体制」の構築

当社では、お客様に安全で安心な商品を提供するために、様々な品質保証活動を進めており、2005年11月に「品質保証委員会」を設置いたしました。

品質保証委員会は、社長を委員長に、品質保証に関連する各部門の責任者で構成され、品質保証にかかわる重要な問題について討議決定する機関です。

ここで決定された事項は、直ちに関連部門に周知徹底され、直ちに実行されます。また、危機事態への対応手順を各店舗にも配布し、初動時の役割や連絡体制、対応など詳細に明記し、従業員全員への啓発活動も実施しております。

お店で分かる安心表示について

当社では、お客様が安心してお食事を楽しみ、また健康管理に役立てていただけるように下記の取り組みを推進しております。



「健康とろろごはん膳」(和食さど)

- 店頭での「主要食材の原産地表示」
- メニューブックで「カロリー・塩分表示」
- 「体にやさしいヘルシーメニュー」



株主御優待券のご利用範囲拡大のお知らせ

今回ご送付しました株主御優待券から、

弊社の「和食さと」「和食鍋処 すし半」「すし半法善寺総本店」「夫婦善哉」に加え、新たに「にぎり長次郎」「CHOJIRO」各店舗でご利用いただくことができるようになりました。

ただし、前回ご送付しております、有効期限が平成26年12月31日のものにつきましては「にぎり長次郎」「CHOJIRO」各店舗ではご利用できませんのでご注意ください。

なお、各店舗の詳細につきましては、同封の「店舗ご案内」をご参照ください。

今回ご送付分

有効期限
平成27年6月30日



ご利用できる店舗

「和食さと」
「和食鍋処 すし半」
「すし半法善寺総本店」
「夫婦善哉」
「にぎり長次郎」
「CHOJIRO」



ご注意ください

前回ご送付分

有効期限
平成26年12月31日



ご利用できる店舗

「和食さと」
「和食鍋処 すし半」
「すし半法善寺総本店」
「夫婦善哉」



ご注意ください

ホームページのご案内 <http://www.sato-restaurant-systems.co.jp>

当社のホームページでは、株主・投資家の皆様に向けて、企業情報や財務情報について、情報開示を行っております。当社をよりご理解いただくためにも、ぜひアクセスしてください。



UD
FONT



ミックス
責任ある木質資源を
使用した紙

FSC® C022337